



Heart of Europe **Poland**

今、訪れたいワルシャワ

新旧それぞれの魅力を探る



POLISH
TOURISM
ORGANISATION

「ヨーロッパの中心」ポーランドの首都がワルシャワ。
日本から毎日直行便が飛ぶようになり、これまで以上に便利で気軽に行けるようになった。
世界遺産の旧市街や日本でも人気の音楽家ショパンゆかりの地として知られるが、町自体は新しく進化している。
新旧の魅力を織り交ぜたワルシャワへ、今訪れたい。

忠実に再建したことで世界遺産に ワルシャワ旧市街



カラフルな建物が建ち並ぶ旧市街広場

その美しさから、かつて「北のパリ」と称えられたワルシャワ。旧市街は第二次世界大戦の攻撃で破壊されたが、ワルシャワの人たちの尽力により、「レンガのひび割れひとつに到るまで」と言われるほど、忠実に再建。歴史的価値ではなく、その「街の復興にける市民の不屈の熱意」で世界遺産に指定された。

旧市街はそぞろ歩きがおすすめ。広場のカフェでのんびりしたり、ギャラリーやアンティークショップをはしごしたり、レストランで美味しい料理を味わったり、思い思いの時間を過ごしたい。

夏の人気スポット、爽やかな風を感じて ヴィスワ河畔のプロムナード



ワルシャワを南北に流れるヴィスワ川。河畔のプロムナードは、夏の人気スポットとして知られ、夏場だけオープンするおしゃれなカフェや川

べりでビールを片手に、夏の長い日を楽しむ人々が集う。家族連れのスペースも充実していて、素顔のワルシャワっ子に出会える。

旧市街からもアクセスしやすく、南から北までは、歩くとおよそ1時間弱。北には、マルチメディアを駆使した音楽と光の噴水のショーが楽しめる公園があるので、是非訪れてみたい。

ポーランドの伝統酒ウォッカを知る ポーランド・ウォッカ博物館



ヴィスワ川の対岸、プラガ地区にあるポーランド・ウォッカ博物館は2018年にオープン。ウォッカ製造の歴史をはじめ、素材や製法、ポーランド文化と社会におけるウォッカについて総合的に学ぶことができる博物館だ。



英語かポーランド語のガイドが付く

重厚なレンガ造りの建物はかつてのウォッカ製造工場。見学の最後には、3つの異なる素材でできたウォッカを飲み比べるテイastingが待っている。バーテンの指示通りにひとつずつ味見をすると、不思議や不思議、ジャガイモ、小麦、ライ麦など、素材によって飲み口や口当たりが全然違うのが分かる。

著名な音楽家の足跡をたどる ショパンが愛したワルシャワ



左/ヴィジトキ教会
右/ここにショパンの心臓が収められている(聖十字架教会)

ワルシャワはショパンが前半生を過ごした場所で、「ピアノの詩人」ショパンゆかりの場所が数多くある。例えばヴィジトキ教会では、ショパンが学生時代にミサでパイオルガンを奏でた場所として知られている。また聖十字架教会には、パリから持ち帰られたショパンの心臓が納められており、献花が絶えない。最新のインタラクティブな展示で、愛用のピアノをはじめ、貴重な資料が保管されているショパン博物館もおすすめです。

ワルシャワっ子憩いの場、野外コンサートも ワジェンキ公園



左上/野外コンサートの様子 右上/アンフィシアター
下/新緑や紅葉の季節も美しい

ヨーロッパの首都にある公園では最大だと言われるワジェンキ公園。ここでは5月から9月末まで毎日曜日にショパンピアノ野外コンサートが園内のショパン像の下で開催されている。

園内には緑が多く、じゃれ合うリスや見事な孔雀などを見かけることも多い。水上宮殿やアンフィシアター、オレンジリー(温室)など、かつて王立公園であった風格が感じられるワルシャワっ子の憩いの場だ。

共産主義時代の名残、ワルシャワで一番高いビル 文化科学宮殿



ヴィスワ川や旧市街を望む

この展望台に上れば市内を一望できる。共産主義の時代を彷彿させてくれるワルシャワの観光名所のひとつだ。

文化科学宮殿はスターリンの贈り物と言われ、鉄道駅の横に高くそびえ、今もなおワルシャワで一番高いビルとなっている。この展望台に上れば

郊外に構える「夏の離宮」 ヴィラヌフ宮殿



ワルシャワの中心部から5kmほど南に行ったところにあるヴィラヌフ宮殿は、ヨーロッパをトルコの侵入から守ったことで知られるヤン3世ソビエスキ王の美しい夏の離宮として知られている。

宮殿内は博物館になっていて、西洋から東洋までの世界の美術品のコレクションが見事。フランス庭園も必見だ。とりわけ秋に訪れると宮殿周辺の木々が黄金色に染まって、文字通り「ポーランドの黄金の秋」を楽しむことができる。

WARSAWA GOURMET

美味しい

ワルシャワ

夏限定の味も



ピーツの色が印象的な夏限定の「フワードニク」

ピエロギはレストランや食堂で味わったり、料理教室で作り方を学んだりもできる

伝統的なピエロギ(ダンプリング)は、ポーランドの国民的料理のひとつ。水餃子に似ているので、日本人にとって親しみやすい味だ。ピエロギ専門店もあり、具材も種類あって楽しめる。また夏だけのスープ「フワードニク」はピーツの冷製スープで、暑さが厳しい日には涼感を感じさせてくれる料理だ。

ポーランド政府観光局

www.poland.travel
info.jp@poland.travel